

国
・持続可能な社会の創り手の育成
・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

広島県
一人一人が、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造する人づくりの実現

大竹市
「笑顔・元気」かがやく
大竹っ子の育成

令和6年度 小方学園 学園経営構想

学園教育目標

かしこく なかよく たくましく
元気に 仲良く 学習する 児童生徒の育成

思考力・判断力・表現力の育成

「じっくり考え、はっきり説明」

非認知能力の育成

「我慢強さ・利他性・協調性」

一生懸命な姿が
「美しき学園」

できた！わかった！がんばった！

○児童生徒一人一人を大切に授業

教員によってブレない指導

- (1)人の話を最後まで聴かせる
- (2)ほめる
- (3)机間指導
- (4)不正を放置しない
- (5)机上は必要な物だけ
- (6)どうぞ、ありがとう
- (7)礼の後の心の3秒
- (8)アイコンタクト
- (9)教室の床に違和感なし
- (10)掲示物のはがれや斜め掲示なし

○「じっくり考え、はっきり説明できる」 自立した児童生徒を育成する授業

- (1)問いの構造を意識した発問
「事実確認の問い」から「原因、理由、条件、目的を解釈させる『なぜ』の問い」
- (2)文字言語で自分との対話からの音声言語で他者との対話

みんなが自分だったら
どうなるかな？

○道徳教育

広島県教育委員会指定 道徳教育推進拠点地域事業を活用した道徳教育

- ・道徳教育推進リーダー及び道徳教育推進教師の機能化
- ・道徳的行為をしようとする「内面の力」を育てる授業の実施
- ・道徳参観日及び懇談会による保護者の理解の促進

○組織的な生徒指導

- ・生徒指導主事の機能化
- ・先手の対応による問題行動の未然防止
- ・教育相談体制の構築

○非認知能力を育てる学校行事

- ・児童生徒に適度な負荷を与え成長させる集団活動の設定

自分の体力を
高めよう！

○体力づくり

- ・運動の本質が楽しい体育科の授業の実施
- ・新体カテストの結果を踏まえた計画的な体力の補強
- ・養護教諭と担任等が連携した保健教育の実施

○食育

- ・栄養教諭と担任等が連携した食育の実施
- ・給食残菜0（ゼロ）を要とした食べ物を捨てない指導
- ・食育だよりや弁当の日等による家庭への望ましい食生活の啓発

特別支援教育の充実：児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導及び支援の充実

施設一体型小中一貫教育校の強みを手段として「学力向上」「思いやりと憧れ」

教職員

- ・学園運営委員会
- ・小・中協働の教育研究
- ・小・中合同研修会
- ・生徒指導に係る情報連携及び行動連携
- ・兼職による授業の実施

謙虚に学び続ける教職員
分担・協力し、感謝し合う教職員
プロとしての自覚あふれる教職員

児童生徒

- ・白ヤギさんプロジェクト（お手紙交流）
- ・いっしょにCLEAN UP（地域清掃）
- ・いっしょにランチ（給食放送交流、ランチルームでの交流給食）
- ・いっしょにあそぼ！！（光庭での交流）
- ・あこがれ授業参観
- ・児童会と生徒会の連携活動（行事の運営、掲示物の作成等）
- ・中学生から小学生への応援清掃

家庭・地域・関係機関との連携の強化

保護者、学校評議員、学校関係者評価委員、主任児童委員、民生委員、社会福祉協議会、地域人材、大竹市教育委員会、大竹市こども相談室、大竹市給食センター、福祉課等大竹市役所関係課、大竹警察署、地元企業、医療機関、広島県西部こども家庭センター、広島県西部保健所 等

一に安全 二に学力